

大学と自宅とで メール・アカウントを使うために必要な知識

1) 多摩校地に電話でアクセスすれば(ダイヤルアップすれば)大学のメール・アカウントをそのまま使えることは、多くの人が知っていると考えます。多摩校地周辺に居住している諸君は、どうぞこの利便を十分に活用してください。

このための手引きは、多摩計算センターに用意してあります。

2) もし自宅(もちろんアパートなどを含む)が市外電話番号「042」以外で、大学に電話すると市外電話料金がかかる人はどうするとよいだろうか。これについて必要な知識をのべます。事例には、ほく自身のものを上げておきます。

3) どうしても知る必要がある最低限の知識は、Almail32 の設定で出てくるサーバーの意味です。

メールに必要なサーバーは2つあり、学内からは：

POP3 サーバー名：`mailsrv.mt.tama.hosei.ac.jp`

SMTP サーバー名：`mailsrv.mt.tama.hosei.ac.jp`

この中で：

POP3 サーバーというのは、「受信」した個人宛のメールを保存しておく「郵便箱」です。

また：

SMTP サーバーというのは、「送信」するとメールを宛先に届ける仕事をしてくれる「配達係」です。

3) もし諸君が「プロバイダー」(最近では ISP と言うらしい)を利用しており、市内電話でこれに接続した場合、インターネットというのは日本中・世界中をつなぐネットワークであり、さらにまた上記の `mailsrv.mt.tama.hosei.ac.jp` というサーバーは世界中で法大多摩校舎にしかないものだから、「受信」するためにはインターネットがこれを探し出せば、このままで受信が可能ははずです。

実際に、受信(つまり POP3 サーバー名)はこのままで可能です。

4) また理論上は、同じ理由で「送信」もこのままでできるはずははずです。しかし普通の場合、これは不可能です。理由はおおよそ2つあります。

第1に、大学の SMTP まで届けてくれる「配達係」は、接続している「プロバイダー」の SMTP に依存する必要がある、どうしてもあります。わかりやすい事例として、仮

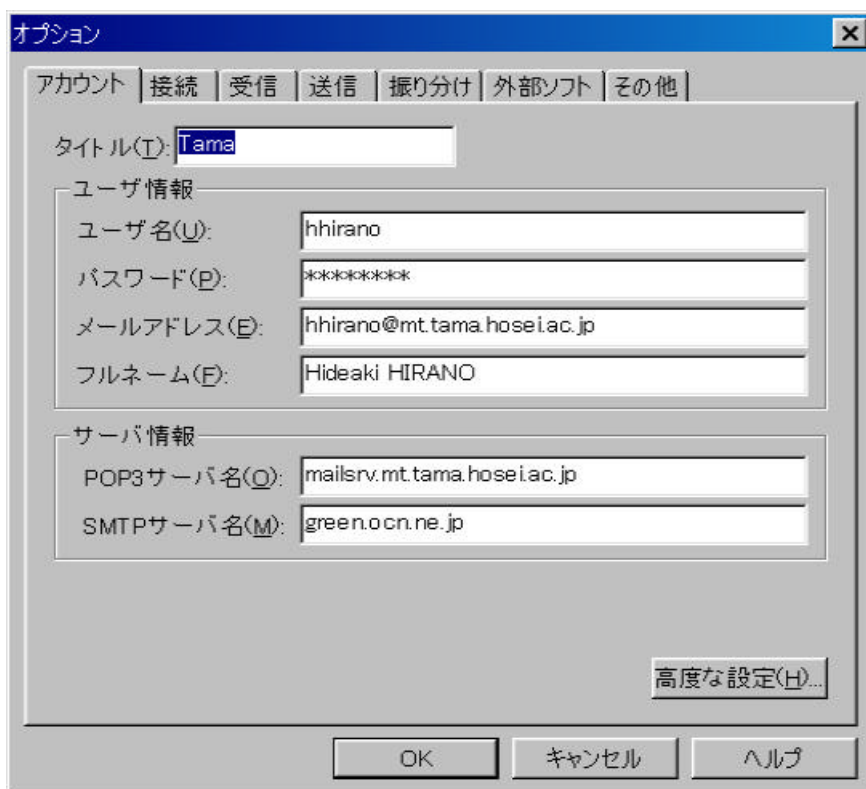
に埼玉県の人が東北にメールを送信した場合を考えて下さい。明らかに、これはトラフィックを増加させるだけの無駄な寄り道です。

第2に、だれか悪意の人が、ウイルス送信など、破壊を目的としたメールを、別の場所からネットを辿って `mailsrv.mt.tama.hosei.ac.jp` を使用して送信する可能性があります。こうすると、どこが本当の発信地か分からなくなります。

このような理由で、SMTP サーバーは加入している「プロバイダー」のもの以外を使用することは、多くの場合できないことになっています。

5) そこで、具体的には次のぼくの事例のような設定をすれば、「受信」は大学の `mailsrv.mt.tama.hosei.ac.jp` から「プロバイダー」経由で取ることができません。

同時に、「送信」は手近の SMTP を使用するわけです。



ぼくは ocn という「プロバイダー」を利用しており、この「プロバイダー」のぼくの「配達係」をやってくれる SMTP サーバーが、`green.ocn.ne.jp` なのです。

ぼくは平塚市に住んでいますが、このようにして平塚市内のアクセスポイントに電話接続し、大学に届いたメールを「受信」するようにしています。

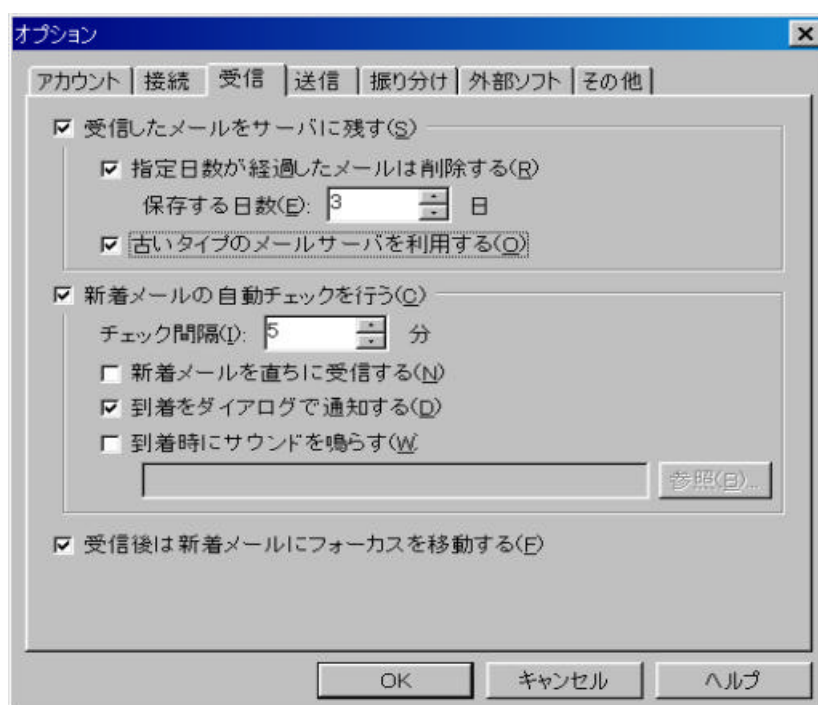
「送信」メールは `green.ocn.ne.jp` に「配達係」をしてもらいます。

これなら、「受信」も「送信」も、電話料金は市内料金です。

6) もうひとつ知っておくべきことがあります。通常 POP3 サーバーは、メールを個人に渡した段階でサーバー上から「保存」してあるメールを削除します。

これでは、大学で受信した段階で POP3 サーバー上から削除されてしまい、自宅で再度受信しようと思っても POP3 サーバーからメールが削除されているので、「受信」することはできません。

そこで、ある短い日数の間 POP3 サーバーがメールを削除しないように設定する必要があります。この設定なら、大学（または自宅）で一度受信したメールも、3日以内なら自宅（または大学）で受信が可能です。



<-ここに注意

7) あまり「保存期間」を長く取らないで下さい。3日～5日くらいにして下さい。さもないと、POP3 サーバーは保存するメールに多くスペースを独占されるという弊害が出ますので。

8) あと一つは蛇足です。プロバイダーは、多くの場合加入者にメール・アカウントを最低でも一つ発行してくれます。大学のメール・アドレスと、このプロバイダーのアドレスと、2つのメール・アドレスを持つことになります。この管理は、どうぞ自分でしてください。

いろいろな使い道があります。a) このアカウントは特定の人だけに公開し、特定

の目的に使用する。b) プロバイダー側のメール設定を、到着したメールを大学のアドレスに転送するようにしてもらう、などです。参考までに、ぼくの場合には b) を使用して、すべてのメールが大学に集るようにしています。

9) プロバイダーの料金はどんどん安くなり、メールだけなら月額 500 円かそれ以下が常識になりました。携帯電話などよりはるかに安いので、加入をおすすめします。市内電話でつながる「アクセスポイント」を持っているところなら、どこでもよいでしょう。また、大学のアドレスは卒業と同時になくなりますが、卒業後も同じアドレスを個人的に使い続けたいなら、全国どこにでもアクセスポイントを持っているところに加入するのが、一つの考え方です。インターネットの利用形態のなかで、メールだけは今後も消えません。よくご検討下さい。